

世と教界を見る目を養う(8)

=私たちの内なるバビロン=

■マタイ4:1-11;1ヨハネ書簡2:15-17

- ①バビロンの本質:神からの独立と自らを自らで支持すること=安定した身の拠り所を求める性向→偶像礼拝の本質
- ②アダムの受けた誘惑と敗北:その木を見ると—
- ・おいしそう(肉の欲)
 - ・目をひきつけ(目の欲)
 - ・賢くする(生活の奢り)
- ③主の受けた誘惑と応答:
- ・空腹:石をパンに変えよ(生存)→神の口から出る言葉によって生きる:肉の欲に対する勝利
 - ・神殿の屋根:飛び降りよ、天使が支える(能力・資質)→神を試してはならない:目の欲に対する勝利
 - ・世の繁栄:悪魔を拝せよ、すべてを与える(栄華)→主のみを拝み、仕えよ:生活のおごりに対する勝利
- ④バビロンは私たちの心にある(ヤコブ1:15):肉の欲、目の欲、生活の奢りを自分で満たす事→世の政治は肉の欲に仕え、社会は目の欲に仕え、経済は生活の奢りに仕える
- ⑤偶像礼拝の本質=人間の必要を人間自身が満たす事→大いなるバビロンへの発展(黙示録14-18章)

■暗証聖句

マタイ

4:4 イエスはお答えになった。『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』／と書いてある。

4:7 イエスは、『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある』と言われた。

4:10 すると、イエスは言われた。『退け、サタン』あなたの神である主を拝み、／ただ主に仕えよ』／と書いてある。

4:11 そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。